

# 事業報告

## 平成29年度 教育事業 信州高遠自然みつけ隊～初夏編～

平成29年6月3日(土)～4日(日)  
【対象】家族・グループ  
【場所】国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣旨～

国立信州高遠青少年自然の家において、森・川・星空・動物といった豊かな自然環境と自然観察指導員・望遠鏡・プラネタリウムといった充実した環境・設備を生かし、子供達に豊かな自然体験を経験させ科学的な好奇心を育ませる。また他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

### ～主催～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

### ～活動日程～

時								13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
6月3日(土)	13:00～13:30 受付 13:30～ 開会式							受付・開会式	アイスブレイク	散歩	クラフト ネイチャー	夕飯のつどい	夕食	休憩	星座観察	入浴	就寝	
時	6	7	8	9	10	11	12											
6月4日(日)	起床	朝のつどい	朝食	荷物整理	自然観察	食文化体験	郷土の 閉会式・解散	12:00～12:30 閉会式 12:30～ 解散										

### ～参加者～

11家族(大人:13名、小学生:18名、幼児:1名) 計:32名

(長野県、山梨県、愛知県、東京都)

### ～活動トピックス～

#### 活動Ⅰ クラフト活動

「自然素材でお家の守り神を作ろう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家周辺の硫黄沢遊歩道で散歩をしながらみつけた自然素材(葉や枝、松ぼっくり)を使って、世界で一つだけの守り神を作った。個性豊かな作品がいっぱい誕生し、できあがった守り神をみんなで鑑賞した。





## 活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員

300mmや128mmの天体望遠鏡を使って月のクレーターや木星の縞や衛星を見たり、プラネタリウムで春の星座や宇宙についての説明を聞いたりした。



## 活動Ⅲ 野鳥観察

講師：信州高遠青少年自然の家 野鳥観察指導員

双眼鏡の使い方やピントの合わせ方を指導員の先生に教わってから、高遠の豊かな森の中を歩いた。スマートなキセキレイ、声の美しいホオジロ、巣から顔をのぞかせたキビタキなどを観察することができた。



## 活動Ⅳ 郷土の食文化体験

「寒天を使って白玉クリームあんみつを作ろう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア

信州の気候を生かした特産物の寒天について、原料の海藻「天草」を手にとってみたり、できるまでの流れの写真を見たりして学んだ。加工前の天草と棒寒天を見比べてから薪を燃やして棒寒天を煮溶かした後、冷やしてさいの目に切った。こねて茹でた白玉・フルーツ・アイスクリーム・あんこをお好みでのせて、最後に黒蜜をかけた初夏の季節にぴったりのおやつを作って食べた。

## ～参加者の声～

- ・自然の中で普段できない体験ができ、子供も大人もとても楽しむことができた。野鳥観察では鳥の巣も見ることもできたし、セキレイがあんなにきれいな鳥だと初めて知ることができた。
- ・体験することが本当に良いということを感じた。
- ・星空観察や野鳥観察の指導員の先生方の専門的な話がとてもおもしろかった。
- ・高遠のことや寒天が諏訪地方の名産など新しい気づきもあり、大満足の内容だった。
- ・子供達もすぐ友達ができ2日間楽しく過ごせた。ぜひまた違う季節に参加したい。

## ～成果と課題～

- 自然散策で集めた木の枝や葉などの材料を使ったクラフト活動や大口径の望遠鏡を使った星空観察、野鳥観察指導員による自然の家周辺の野鳥や樹木についての話、寒天作りなど普段の家庭生活ではできない非日常の体験を提供することができた。
- 同じグループで活動をしたり、宿泊棟で生活をしたりしたことで、自由時間に子供同士で遊んだり、大人同士でも楽しく話をしたりしている場面も見ることができた。
- 初めて施設を利用する参加者が多かったため、事前にシーツの使い方から後片付けの仕方などの施設利用に関する説明をもっと丁寧にする必要を感じた。
- 6月の第1週末は深緑の季節で、草花も比較的多く見られたのは良かったが、梅雨に入る時期なので、天候が心配である。また、学校行事の時期とも重なるため日程に関して考慮が必要である。